

「農業担い手団体と地元選出県議会議員との懇談会」 が開催されました

「諏訪地区地元選出県議会議員と農業の担い手団体との懇談会」が、2月1日、茅野市マリオローヤル会館で開催されました。当日は、農家の代表6名がそれぞれの経営内容や課題などについて紹介した後、県議会議員が質問する形で意見交換を行いました。

「農業資材の高騰による苦しい経営実態や、経営規模の拡大による経費削減には限界がある。八ヶ岳山麓の立地を活かした経営規模の”最適化”が必要ではないか？」といった意見が出されました。その他、「労働力や担い手の確保として、今後は急増している移住者など多様な担い手への期待が高まっている」との声や、「スマート農業を実用化するには課題も多く、開発者と使用者の間で双方向の情報交換が必要」といった意見などが出されました。

3年ぶりの開催ではありましたが、活発な意見交換がなされ、有意義な機会となりました。

